

令和6年度 信頼される学校であるための行動計画

三重県立特別支援学校玉城わかば学園

玉城わかば学園では、不祥事根絶とよりよい職場づくりを推進していくため、その遵守に向けて「信頼される学校であるための行動計画」を策定しています。

特別支援学校に勤務する教職員として、児童生徒の障がいに基づいた誠実な支援により、児童生徒、保護者、関係者からの信頼に応えられるよう、人権を重んじた真摯な態度で教育活動に臨みます。

1 教職員の行動目標

(1) 管理職

- ① コンプライアンスに関する研修を実施し、教職員の意識向上に努めます。
- ② 体罰や虐待、行き過ぎた指導の不適切な指導の根絶に向け、人権を尊重し、特別支援教育の専門性に基づいた指導体制を構築します。
- ③ 組織的で働きやすい職場、相談しやすい環境づくりに努めます。
- ⑤ 保護者、地域、関係者と連携し、開かれた学校づくりを進めます。

(2) 教職員

- ① コンプライアンスを遵守し、責任ある行動をとります。
- ② 児童生徒の人権を尊重し、特別支援教育の専門性に基づいた指導を行います。
- ③ 職種や学部の枠を超え、互いに相談やアドバイスをしあえる関係をつくります。
- ④ 保護者、地域、関係者と連絡を密にし、信頼関係を構築します。

2 目標達成のための取組

(1) 管理職の取組

- ① 月1回のコンプライアンス研修を実施するとともにコンプライアンスに関する情報を発信し、教職員の意識向上に努めます。
- ② 特別支援教育や人権教育等、多角的な側面からの研修を実施するとともに、授業観察、校内巡視等を通じて教職員との対話をもち、教職員の専門性の向上に取り組みます。
- ③ 教職員が支えあえる組織づくり、働きやすい職場づくりをめざしてオフサイトミーティングを開催し、風通しのよい職場風土を醸成します。
- ④ 授業公開、ホームページの更新等を通じて情報発信を行い、学校の「見える化」を進めます。

(2) 教職員の取組

- ① コンプライアンス研修やチェックリスト等を通じて、自分の児童生徒への意識や指導法を振り返ります。
- ② 特別支援教育に携わる者として、主体的に校内研修に励み専門性を高め、児童生徒に寄り添い、安全安心な学び、よりよい教育を提供します。
- ③ 学年、学部で児童生徒の話題について話し合い、課題や悩みを共有し、共に考え、組織的に行動します。
- ④ 校内における報告・連絡・相談を必ず行うとともに、保護者や地域への細やかな対応に取り組みます。